

## 「ちゃりん」という春の音

自転車が一番似合う季節は、入学や就職のシーズンである春でしょう。この4月、自転車に関する新しい二つの施策が動き出しました。

一つが、8日に全線開通した自転車道です。番町一丁目から昭和町交差点までの約1.0キロメートルの整備が完了し、供用開始しました。車道の車線を減少させて自転車専用レーンを設置したもので、全国的にも先駆的な取り組みです。若干渋滞が増し、タクシーの乗降車時などに注意が必要など課題はありますが、格段に、自転車と歩行者の安全性と利便性は増したものと思います。

もう一つが、16日から始まった丸亀町商店街における自転車乗り入れ禁止社会実験です。ご承知のとおり、丸亀町は再開発事業が進み、全国の商店街の活性化の模範例として視察者も相次いでいます。そんな中で、「せっかく街がおしゃれになっても、自転車がびゅんびゅんとばして安心して歩けない」という類いのクレームも多数寄せられているようです。そこで、買い物客が安心して通行できる環境を整えようと、自転車乗り入れ禁止の社会実験を行うこととしたものです。これまでは、規制すると客が減るとの思い込みがあり、商店街からは言い出せなかったそうです。そこを今回、広場を持つG街区オープンを契機に、商店街と、市、警察、市民、みんなでこの問題を解決しようとする取り組みこととなりました。早くも「まちをゆっくり楽しむ雰囲気が出て非常に良い」と好評を博しています。市民の合意が得られれば、そのまま本格規制へと移行したいと思っています。

また、今後市内約140店舗のコンビニエンスストアに空気入れを常備する「ちゃりんこ救急ステーション」設置事業や、自転車周遊コースを掲載した観光施設めぐり「ちゃりんこマップ」の作成も実施していきます。

健康志向と環境意識の高まりによって、自転車に乗る人は増えています。「ちゃりんこ」の名の元となったと言われる、呼び鈴の「ちゃりん」という音。春に似合う音だと思います。自転車に乗る人も歩く人も、「ちゃりん」という音を笑顔で聞きながら行き交える、ちゃりんこ安全便利都市を目指したいと思っています。